

環境経済・政策学（5）

1. 市場的手法（MBIs）：排出課徴金（Pollution Charge）

（1）市場的手法：排出課徴金（ピグー税）

市場と外部性：外部不経済（社会的費用）の内部化としてのピグー税

企業の汚染の限界削減費用：生産関数・限界生産力（MP）

費用関数・限界費用（MC）

限界費用曲線と最適生産量の決定 $P=MC$

限界削減費用曲線（MAC）

ピグー税の効率性：排出課徴金と限界削減費用の均等化：静学的効率性

ピグー税と消費者負担・生産者負担、ピグー税と取引費用（Transaction Cost）

ピグー税とボーモル・オーツ税

（2）世界の環境税

先進国の事例：ドイツ・水質汚濁税、フランス・産業水質汚濁課徴金、スウェーデン・SOx 税、オランダ・スイス・航空機・騒音課徴金

途上国の事例：中国・排出課徴金（大気汚染物質、水質汚濁物質、廃棄物）、フィリピン・ラグナ湖・排水課徴金、ベトナム・排水課徴金

炭素税：オランダなどのヨーロッパ諸国の炭素税

日本の環境税の議論（地球温暖化対策税、環境省案、2009年）

2. 市場的手法(MBIs)：排出権取引制度（Pollution Rights Trading）

外部不経済の内部化：所有権アプローチ（環境財（自由財）に所有権を設定する）

制度の仕組み：Cap and Trade

排出権の決定方式

排出権の配分（初期配分方式）

- ・バンキング（次期への繰越）、ボロイング（次期から借入れ）、認証、
- ・モニタリング、罰則（罰金）

3. 京都議定書（1997）と排出権取引制度（ET、JI、CDM）

日本の排出権取引制度

EUの排出権取引制度（EU-ETS）、世界の動き

4. 日程

第1部 環境政策の基本的類型と環境問題

1. イントロダクション（環境問題と環境政策：大気汚染対策） 4/06
2. 環境政策の類型：直接規制 4/13、4/20
3. 環境政策の類型：市場的手法 4/27、5/11
4. 環境政策の類型：自主的手法 5/18、5/25
5. 環境問題と環境政策：地球環境問題 6/01

第2部 環境政策の評価

6. 費用便益分析 6/08、6/15

7. 環境の経済的評価 6/22、6/29

8. 環境政策の評価基準と評価方法 7/06、7/13

第3部 まとめ

9. まとめ・試験 7/20